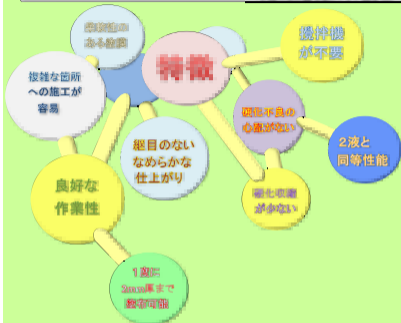


特許品 1液 2液 防食材

1液2液防食材の施工方法



用途： 鋼材の防食、鉄骨の防食、鋼材の防食、鋼材の防食、鋼材の防食、鋼材の防食、鋼材の防食、鋼材の防食

● 竹村化学工業株式会社

品質・作業性に優れた1液型防水材

タケール1液型防水材は、攪拌機による混合作業が不要の作業性に優れた1液型気硬化型無溶剤レタン防水材です。

仕立て



10kg缶(5㎡以内)



18kg缶(9㎡以内)

色調



グレイ



グリーン

※見本塗膜表面は、汚れ防止のため、フィルムを貼付しています。

納まり図



立上り



パラペット



壁面



梁台



目地部の納工法



クラックの納工法



横ドレン



縦ドレン

脱気装置



脱気筒



脱気筒



露出密着工法仕様

タケシールC-1+T-3000工法



| 工程 | 商品名 | 塗布量 | 塗装間隔 |
|--------|----------------------|----------------------|--------|
| 16 上塗り | タケシール#3000トップコート ※2 | 0.2kg/m ² | |
| 14 中塗り | タケシール1液カラー防水材 ※3 | 1.0kg/m ² | 24時間以上 |
| 13 中塗り | タケシール1液カラー防水材 ※3 | 1.0kg/m ² | 24時間以上 |
| 12 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.3kg/m ² | 3時間以上 |
| 11 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.3kg/m ² | 2時間以上 |

タケシールC-2+T-3000工法



| 工程 | 商品名 | 塗布量 | 塗装間隔 |
|---------|----------------------|----------------------|--------|
| 16 上塗り | タケシール#3000トップコート ※2 | 0.2kg/m ² | |
| 15 中塗り | タケシール1液カラー防水材 ※3 | 1.2kg/m ² | 24時間以上 |
| 14 中塗り | タケシール1液カラー防水材 ※3 | 1.3kg/m ² | 24時間以上 |
| 13 補修貼り | タケシール1液カラー防水材+補修材 ※3 | 0.3kg/m ² | 24時間以上 |
| 12 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.2kg/m ² | 3時間以上 |
| 11 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.3kg/m ² | 2時間以上 |

タケシールC-4工法



| 工程 | 商品名 | 塗布量 | 塗装間隔 |
|---------|----------------------|----------------------|--------|
| 16 上塗り | タケシール#3000トップコート | 0.2kg/m ² | |
| 15 中塗り | タケシール1液カラー防水材 | 1.8kg/m ² | 24時間以上 |
| 14 中塗り | タケシール1液カラー防水材 | 2.0kg/m ² | 24時間以上 |
| 13 補修貼り | タケシール1液カラー防水材+補修材 | 0.3kg/m ² | 24時間以上 |
| 12 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.2kg/m ² | 3時間以上 |
| 11 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.3kg/m ² | 2時間以上 |

タケシールC-7工法



| 工程 | 商品名 | 塗布量 | 塗装間隔 |
|-----------|--------------------|-----------------------|--------|
| 17 上塗り | タケシール#3000トップコート | 0.2kg/m ² | |
| 16 中塗り | タケシール1液カラー防水材 | 1.5kg/m ² | 24時間以上 |
| 15 中塗り | タケシール1液カラー防水材 | 1.5kg/m ² | 24時間以上 |
| 14 中塗り | タケシール1液カラー防水材 | 1.14kg/m ² | 24時間以上 |
| 13 貼り合せ処理 | ジョイントテープ | | |
| 12 下塗り付け | 通気緩衝シート(GRW-3330L) | | 3時間以上 |
| 11 下塗り | タケシールE-500プライマー | 0.3kg/m ² | 2時間以上 |

※1別表裏面の取付けは、工程2終了後に行います。

※2工程⑫、通気緩衝シートの保護は、タケシールE-500プライマーの溶剤成分を揮発させた後に付します。

タケシールC-7m工法



| 工程 | 商品名 | 塗布量 | 塗装間隔 |
|----------|----------------------|-----------------------|--------|
| 16 上塗り | タケシール#3000トップコート | 0.2kg/m ² | |
| 15 中塗り | タケシール1液カラー防水材 | 1.54kg/m ² | 24時間以上 |
| 14 中塗り | タケシール1液カラー防水材 | 1.6kg/m ² | 24時間以上 |
| 13 目止め | タケシール1液カラー防水材+たれ止め材 | 1.0kg/m ² | 24時間以上 |
| 12 下塗り付け | 通気緩衝シート(MTG-5100) | | 3時間以上 |
| 11 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.3kg/m ² | 2時間以上 |

タケシールC-4L上り工法



| 工程 | 商品名 | 塗布量 | 塗装間隔 |
|---------|-------------------------|----------------------|--------|
| 16 上塗り | タケシール#3000トップコート | 0.2kg/m ² | |
| 15 中塗り | タケシール1液カラー防水材+たれ止め材 | 1.1kg/m ² | 24時間以上 |
| 14 中塗り | タケシール1液カラー防水材+たれ止め材 | 1.3kg/m ² | 24時間以上 |
| 13 補修貼り | タケシール1液カラー防水材+補修材+たれ止め材 | 0.3kg/m ² | 24時間以上 |
| 12 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.2kg/m ² | 3時間以上 |
| 11 下塗り | タケシールNO. 400プライマー ※1 | 0.3kg/m ² | 2時間以上 |

備考

- 塗装間隔は、気温20℃での標準時間です。塗工条件等により変化します。
- 下塗り材、上塗り材に付きまして詳しくは、各カタログをご参照ください。
- 本頁がある場合、打ち換えを行い、絶縁工法にて施工してください。
- 各工法につきまして詳しくは、お問い合わせください。
- ※1 下塗り材は、記載商品以外にタケシールE-500プライマー・タケシールAE211プライマーも使用可能です。
- ※2 上塗り材は、上記記載商品以外に、水系の上塗り材も使用できますが、中塗り工程終了後、直ちに塗布する場合は、タケシールNO. 400プライマーを密着プライマーとして使用してください。
- ※3 立上り面の施工の場合は、たれ止め材を併用してください。

物理物性

| 試験項目 | JIS A 6021 ウレタンゴム試験規格 | 規格値 | 試験結果 | 合否 | |
|---------------|-------------------------|----------------------------|-------------|------------|-------|
| 引張性能 | 引張強さ N/mm ² | 2.3 | 4.74 | ◎ | |
| | 破断時の伸び率 | 450以上 | 640 | ◎ | |
| | 抗張強 N/mm ² | 280 | 606.3 | ◎ | |
| 引裂き性能 | 引裂き強さ N/mm ² | 14 | 18.9 | ◎ | |
| | 温度依存性 | 引裂き強さ比 | 試験温度 -20℃ | 100以上300以下 | 213.2 |
| | | 試験温度 60℃ | 60以上 | 60.7 | ◎ |
| 破断時のつかみ間の伸び率% | | 試験温度 -20℃ | 250以上 | 280 | ◎ |
| | | 試験温度 20℃ | 300以上 | 420 | ◎ |
| 加熱収縮性能 | 伸び率 % | 試験温度 60℃ | 200以上 | 380 | ◎ |
| | | | -4.0以上1.0以下 | -0.2 | ◎ |
| 劣化処理後の引張性能 | 引張強さ比 % | 加熱処理 | 80以上150以下 | 104.0 | ◎ |
| | | 促進暴露処理 | 60以上150以下 | 88.5 | ◎ |
| | | アルカリ処理 | 60以上150以下 | 69.9 | ◎ |
| | | 酸処理 | 80以上150以下 | 86.5 | ◎ |
| | 破断時の伸び率 % | 加熱処理 | 400以上 | 600.0 | ◎ |
| | | 促進暴露処理 | 400以上 | 630.0 | ◎ |
| | | アルカリ処理 | 400以上 | 530.0 | ◎ |
| | | 酸処理 | 400以上 | 650.0 | ◎ |
| 伸び時の劣化性状 | 加熱処理 | いずれの試験片にもひび割れ、著しい変形を認めないこと | 異常なし | | |
| | 促進暴露処理 | | 異常なし | | |
| | アルカリ処理 | | 異常なし | | |

| | | | |
|------|----|-------|------------------|
| 硬度性能 | 硬さ | ショア-A | 55 (20℃/7日後気乾養生) |
|------|----|-------|------------------|

性能

| | |
|------------|------------------------|
| 容器内の状態 | 着色された粘質な液体 |
| 不揮発分 | 97% |
| 粘度(20℃) | 700mPa・s |
| 比重(20/20℃) | 1.38 |
| 含有溶剤 | キシレン 3%含有 引火性・有害性 |
| 法規制 | 消防法危険物第4類 第2石油類 危険等級II |

ご注意

- 本製品は湿気硬化型です。1回の塗布量は、塗膜厚2mm(塗布量2.76kg/㎡)以内でお願いします。
- 取り扱う箇所は、通気を良くし、必要に応じて局排気装置等を設けてください。
- 新設コンクリート面への施工は、通常、打設後垂れ4週間以上の養生が必要です。(打設量にて変化します。)また、打設時に発生するエアフロは、ペーパー又は、サンダー等にて研削除去してください。
- 下地面の乾燥養生は十分にしてください。乾燥が不十分の場合、施工後の剥れ、割れの原因となります。
- 開封後は速やかに使いきってください。
- 施工後、塗膜が固く硬くなるのは7日以上の養生が必要です。
- 製品の大きい破損部、特にPG、ALC等のジョイント部分には、必ず補修工法を行ってください。
- 製品の施工時は、日中の暑い時間帯を避け、午前中又は、気温の下がる夕方に施工することをお勧めします。
- 下地処理は適切に行ってください。特に凹凸のある場合は、劣化により下地面が固くなっている場合は、下地調整剤(タケモルカオンE)やタケモルフィラー(A-1、A-2)にて補修してください。
- 本製品を使用する前には、缶を逆さまにしよく振り、内容物が均一な状態となるようにしてください。
- 各回の臭気が見えにくい施工する場合、硬化が進む場合があります。次の工程に移る場合、硬化状況の確認を必ず行ってください。
- 施工中、施工後2時間以内に降雨が予測される場合や、気温が6℃以下になる場合は施工を避けてください。
- 他の用途には使用しないでください。
- 本製品が付着したウエス、拭布は雑用指定の産業廃棄物棄棄物系桶にて処分してください。
- 取扱い時には、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて防毒マスクを着用してください。
- 手又は、皮膚に付着した場合は、多量の石鹸水で洗い流し、痛み又は外観に変化がある場合は、医師の診断を受けてください。
- 詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- ご使用方法につきまして、ご不明な点などございましたら弊社にお問い合わせください。
- 本カタログは、通知無内容を変更する場合があります。

タケモル

タケモル

タケモル

タケモル